

はくさんさん

寿量の祈り

第74号 H22年7月

伊豆市法住寺 発行

サッカー、日本、頑張りましたね。

日ごろはサッカーの試合を観ることはないので、夜の十一時から試合を観たのです。第二戦対オランダ。何よりびっくりしたのは、全くのスポーツ無関心の昌子寺院が「今日は、観る！」。試合が始まるや「それいけー！」「あーあー」、熱心な応援でした。

*

第3戦対デンマークは、その日、遠方に

寿量「じゅりょう」の祈り 「三つのありがとう」

- 一 大自然 ありがとうございます。 合掌
- 一 社会の皆さん ありがとうございます。 合掌
- 一 ご先祖さま、家族の皆さん ありがとうございます。 合掌

この「三つのありがとう」を、毎日声に出し、感謝の気持ちを持ち続けることが、寿量の祈りです。

所用があったので、夜中の三時には起きませんでした。でも五時前にパッと目を醒ますと、ダイジェスト版の放送中。昌子寺院も起きてきて、「ヤッター！」「ヤッター、ヤッター!!!」

途中、海老名サービスエリアで一休みしたのですが、昼近くなのにガラガラ。きつと夜中からの試合の影響に違いないと思ひ込みました。

決勝トーナメント、パラグアイ戦の日、ちよつと病院で診てもらったことがあったのですが、待合室で腰の曲がったお婆さんがテレビに観入っていました。そして付き添いの娘さんらしきご婦人に日本チームの様子を解説しているのです。

*

スポーツには全く関心のない昌子寺院や、

腰も曲がったお婆さんまで夢中にさせるサッカー、あらためて凄いなあと思うのでした。道具はボールだけ、一番使い易いからこそ手はダメ、そしてひたすらゴールを目指すシンプルさ、パワフルさ。理屈抜きに国中を熱狂さ

せるパワーを感じました。

ベスト8を目指したパラグアイ戦、PK戦では彼の寺庭婦人も立ち上がり、手を握り締め祈りの応援。まるで代表選手の輪の中にいるような緊張感でした。

*

日本がPKで一本落とした時の岡田監督の表情は印象的でした。感情を抑え、この局面でもまだ一縷の望みを信ずる、動ずるな！まるで古武士という感じでした。

PK戦って、こういうもんなんですね。

鍛え抜かれた選手の中の選手でも、僅かの差で失敗する。まして私たちの仕事や生活で失敗することもあるんですね。本当に残念でしたが、このシーンは、これからの人生に勇気と覚悟を与えてくれました。

*

『寿量の祈り』選手の皆さん、スタッフの皆さん、ありがとうございます。合掌』
そして、応援の皆さん、お疲れさまでした。

法住寺ホームページ 寿量

の塔入魂にあわせて開きました。

寿量の会

検索

<http://juryo.jp>

寿量の塔、入魂式

大勢の皆さんが参列して下さいました



六月十

二日(土)

護持会役

員さんが

早朝より

出仕、テン

ト張り、椅

子並べ、祭

壇設定等

の会場づ

くり。八十

余席の椅

子は満席、

天気も上々、いよいよ入魂式です。

この寿量の杜全域 東西南北、天上、天地にかかわる諸天善神に、この杜が清浄にして輝きを増すようご祈願致しました。

*

その後あいさつに移り、住職から寿量の祈りについて、次のような話がありました。

時あたかも、伊豆法難七十五年、日蓮大聖人は、この伊豆の地で『四恩鈔』をお書きになられた。一切衆生の恩、父母の恩、国王の

山下一護持会長さま



奇進者 瓜島宏子さま



遠方から嬉しい生花のお供えです。



恩、三宝の恩、この四つの恩に報いるようにとご教示されました。この教えを、わかり易く、具体的に、実践的にしたのが寿量の祈りです。

一切衆生の恩

社会の皆さん ありがとうございます。

父母の恩

ご先祖さま、家族の皆さん ありがとうございます。います。

国王(国土)の恩

大自然 ありがとうございます。

三宝(仏、法、僧)の恩

寿量の祈りを毎日、声に出し、善き心で善き行いをするのが、三宝の恩なのです。

続いてこの杜づくりを進めてきて下さった山下一護持会長さまから、これからも協力

していききたい、皆さんで寿量の祈りを広げていきたいと思います。皆さんで挨拶がありました。

そしてこの塔の奇進者・瓜島宏子さまから、亡き主人の遺志が、このような形になり嬉しく思っています。この寿量の塔がますます輝くことを祈念いたしますという、ご挨拶を頂きました。

お暑い中、ご参加くださいました皆さま、ありがとうございます。寿量の祈り。

寿量の塔の感想



遠方よりの母娘さん

先日は、ありがとうございます。娘は、お母さん、中伊豆には とても穏やかな空気がいっぱい。とても すてき。と、感激していました。

仕事で、ともすれば落ち込みがちな、何か苦しく辛い空気を、しばし、全く忘れることが、私も娘もできました。また、寄らせて頂きます。



新聞広告を見て来た方

新聞の写真では、何か暗ぼった感じでしたが、実際に来て見て、びっくりしました。道路の直ぐ脇で、明るいし、気持ちの良い処でした。また塔の中が立派で、感心しました。

心がけしたい

先日、こんな話を聞きました。実話だそうです。ある外国の街に難病を患う舞台女優がいました。彼女は努力家で、病気にもめげず下積みを重ねて認められ、とうとう

主役を得たのです。しかし、そこに彼女をねたむ人間が現れ、興行主に、さんざん悪口を云いつけ、その結果、彼女は主役をおろされてしまったそうです。失意の彼女は、何と思ったことでしょうか。当然、憎しみ、怒りでいっぱいだったことでしょうか。

ところが、彼女の思いは「どうか私が、あの人を憎むことはありませんように」だったのです。

ここまで聞いて、私は「へえー、すごいなあ」と思いましたが、もつとすごいのはここからです。

*

彼女の身に奇跡が起りました。暫くして何と難病が治ったのです。それから順調に仕事もでき成功したとのこと。 「何で心の中のこと、体の病気を治すの？」、これは理屈ではなく説明の出来ないことですが、自分の中にこそ、自分の人生を主導してくれるものがあることを教えてくれた実話です。 「人生を支配するのは心」と、思い直して、暑さの日々を、頑張つてまいります。

これからの行事



お盆の施餓鬼会

八月三日(火)午後三時

ご先祖供養、塔婆供養、自分の修行ご家族でお詣りして下さい。



寺子屋道場

八月七、八日(土、日)

詳細はチラシで。



伊豆連合大題目講

九月二十七日(月) 午後一時

伊豆長岡 宗徳寺 会費五百円

近隣のお寺さんの参詣も良いものです。



境内整備作業

何時も、ありがとうございます。

◎夏の作業 七月十八日(日)、西地区の皆様が周辺草刈りを中心に行ってくれます。

◎秋の作業 清水①の予定です。



洋明さんのおはなし

最近、行脚をさせて頂く機会が増えていきます。

行脚はお題目をお唱えし、太鼓を叩いて歩

きます。この太鼓の音を聞いた方々にお題目の縁を結び、聞いた方々は必ず仏さまになれる。このことが行脚の本来の目的です。

仏さまは、私にもっと修行をし、多くの方々にお題目の縁を弘めるようにとおっしゃっているのです。

*

六月二十三日、沖繩戦終戦の日に、戦没者慰霊行脚で、沖繩に今年も行ってきました。また伊豆法難七百五十年の報恩行脚。日蓮聖人がたどった鎌倉から伊東までを、陸路で五月から何回かに分けての行脚です。正直、炎天下のなかでの行脚は、足が前に出なくなる様な時もあります。

*

この行脚をしていますと、自分と向かい合える時があります。浴道で手を合わせてくれ

る方、「がんばって下さい」と励ましてくれる方。こういった方がいらっしやいますとお題目の声は大きくなり、太鼓にも力が入ります。

逆に「うるさい」と野次ったり、白い目で見られる方もいます。そういった時こそ、お題目の縁を結ばせて頂く為に、お題目や太鼓に力が入らないといけないのでしょうか。しかし弱い未熟者の私は地獄・餓鬼の心が出て、(何だ！せっかく行脚してるのに！)と思ってしまう、まるで見返りを求めているかのような気が出てしまうのです。そういった時、自分の持っている弱き心を反省をします。皆さんも、思い返してみてください。自身の行いが、人のことを思い、どれだけ見返りを求めないで出来ているのかを。

*

この見返りを求めないで施す修行を布施といえます。

布施と聞くと、皆さんは法要などの際にお寺やお坊さんに包むお礼のことを思うかもしれませんが、もちろんこれも立派なお布施です。仏さま、ご先祖さまに何の見返りを求めず供養をし、報恩感謝をしようというのですから。しかし布施行は毎日いろ

いろなところで出来るのです。気持ち良い挨拶や、周囲への思いやり、見返りを求めずに人の為に何かをすることこそ布施なのです。境内の落ち葉を一枚拾うのも、草を一本取るのも、そこに見返りの気持ちを持たずに出来れば仏祖三宝、ご先祖さまに対する立派な布施なのです。

*

もうすぐお施餓鬼です。これは布施餓鬼ともいいます。ご先祖さまや、皆さんの周りで餓鬼の世界で迷い苦しんでいる霊に対して施しをし、ご供養をする法要です。

是非今年も、皆さんもご家族で施餓鬼法要に参加して下さい。そして見返りを求めずただ一心にお題目を唱え、ご先祖さまや餓鬼の霊に施し供養して下さい。

そうすることは、自分の持っている弱い餓鬼の心の供養にもつながっていきます。卑しい、飢えている、もつともつと欲に任せてしまふ、まさに私たちが持っている日々反省しなくてはいけない餓鬼の心が減ることでしょう。また見返りを求めなくても、たくさんのお仏さま、諸天善神、お祖師さま、ご先祖さまが見守ってくださいるのではないのでしょうか。

御志納金「四月〜七月」

十万円 清水 山下悦子殿 尊母一周忌
十万円 元村 飯田政春殿 尊兄三回忌
五万円 西 杉山勲殿 尊父三十三回忌

寿量の塔入魂、特別志納金

百万円 沼津市 瓜島 宏子 殿